

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査目的

この調査は、市政に関する市民の考え方を把握し、今後の市政運営の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査項目

この調査の調査項目は以下6項目である。

(1) 属性について

性別、年齢、職業、家族構成、住宅状況、居住年数

(2) ウィルチェア（車いす）スポーツについて

ウィルチェアスポーツの認知度、ウィルチェアスポーツについて当てはまるもの、ウィルチェアスポーツで知っている競技、東大阪市立ウィルチェアスポーツコート認知度

(3) 第3次総合計画の成果指標について

東大阪市にずっと住み続けたいか、危機や災害に強く安心して暮らせるまちであると思うか、学校・家庭・地域が一緒になって子どもを育むまちづくりが進められていると感じるか、住宅・住環境に対し満足しているか、外国人住民と日本人住民がともに暮らしやすいまちだと思うか、人権尊重のまちづくりが進められていると感じるか、効率的な市政運営が行われていると感じるか

(4) 「東大阪ブランド」と「オープンファクトリー」について

「東大阪ブランド」の認知度、「東大阪ブランド」を知ったきっかけ、行政の都市ブランディングの取組についての認知度、「オープンファクトリー」の認知度、「こーばへ行こう！」の認知度、「こーばへ行こう！」に参加したいと思うか

(5) 本市の交通施策に対する市民満足度について

安全で便利な公共交通機関や道路のあるまちづくりが進められていると思うか、日常の移動において今後さらに充実してほしいもの、他市の先進事例のなかで本市でも導入してほしいもの、公共交通機関の料金の支払方法

(6) 鴻池新田会所及び旧河澄家の活用について

鴻池新田会所に行ったことがあるか、旧河澄家に行ったことがあるか、鴻池新田会所の活用方法、旧河澄家の活用方法、鴻池新田会所や旧河澄家を効果的に運営できる組織

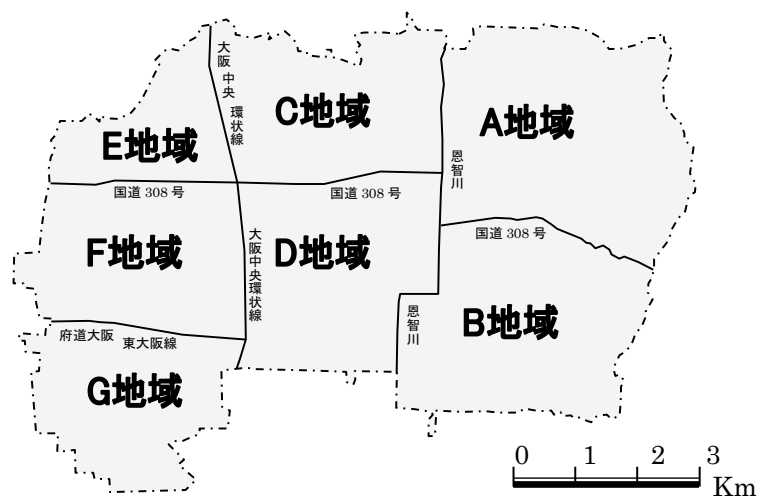
3. 調査設計

- (1) 調査地域 東大阪市全域
- (2) 調査対象 市内在住の満 18 歳以上の市民
- (3) 標本数 2,700 人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳による等間隔抽出法
- (5) 調査方法 郵送調査法（督促状 1 回発送）及びインターネット回答方式の併用
- (6) 調査期間 令和 5 年 7 月 31 日（月）～ 8 月 21 日（月）

4. 回収結果

- (1) 配布数 2,700 票（100.0%）
- (2) 回収数 1,299 票（郵送 950 票 インターネット回答 349 票）
（回収率 48.1%）
- (3) 有効回収数 1,298 票（郵送 949 票 インターネット回答 349 票）
（有効回収率 48.1%）

5. 地域別回収結果



	配布数	有効回収数	有効回収率
A地域	312	169	54.2%
B地域	362	191	52.8%
C地域	335	141	42.1%
D地域	532	273	51.3%
E地域	207	85	41.1%
F地域	561	264	47.1%
G地域	391	171	43.7%

6. 報告書の見方

- (1) 集計結果は、小数点第2位を四捨五入しており、表記値と計算値との演算誤差が生じることがあるため、回答比率の合計が100.0%とならないことがある。
- (2) 複数の回答を可能とした質問では、比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- (3) 比率(%)は、その回答数を母数として算出している。
- (4) 数値に関する記述は下記の基準にしたがっている。
例：約3割 30.0～30.9
3割強 31.0～34.4
3割半 34.5～36.0
4割弱 36.1～39.9
- (5) 「その他」の具体内容は、複数回答している場合があるため、件数の合計が回答者数を超える場合がある。
- (6) 図中の「n」は、有効回答者総数を示し、比率は、「n」を100.0%として算出している。
- (7) 本文中、表やグラフに次のような表示がある場合、複数回答を可能とした質問である。
MA% (Multiple Answer) = 回答選択肢の中から当てはまるものを2つ以上選択する場合